

# 補助要件及び補助金額について

## ○太陽光発電設備

- ① 住宅の屋根等への設置に適した、低圧配電線と逆潮流有りで連系しているもの。
- ② 電力会社と受電契約を結び、かつ余剰電力の買取契約が結ばれているもの。  
太陽電池の公称最大出力の合計が1キロワット以上10キロワット未満のもの。
- ③ (※パワーコンディショナで10キロワット未満に制限をかけた場合でも補助対象とならない。)
- ④ 日本工業規格等で認められているもの。
- ⑤ 未使用品であるもの。

## 【補助金の額】

設置する太陽電池の最大出力の値（キロワット表示とし、小数点第3位を切り捨てる。以下同じ。）に**2万5千円**を乗じて得た額（千円未満の端数がある時は、これを切り捨てた額）とする。ただし、**補助金の上限は10万円**とする。

## ○太陽熱温水器（高効率給湯器）

- ① 太陽光に含まれる赤外線を熱として水を温める装置であり、集熱器と貯湯層が一体型または分離型のもの。
- ② リース品の設置は対象外。購入したものを設置する場合に限る。
- ③ 水を自然に循環させるもの又は、水又は不凍液を強制的に循環させるもの。
- ④ ヒートポンプとの併用システムは対象外。太陽光発電モジュール一体型は対象。
- ⑤ 未使用品であるもの。

### 【補助金の額】

自然循環式	1家庭1台	20,000円
強制循環式	1家庭1台	40,000円

## ○エコキュート（高効率給湯器）

- ① ヒートポンプ方式でCO<sub>2</sub>冷媒を使用していること。  
  
年間給湯効率（社団法人日本冷凍空調工業会のJRA4050：2007Rに基づく指標）が3.0以上であること。ただし、寒冷地若しくは塩害地向け機種、2缶タイプ、内蔵缶体角型1缶タイプ、貯湯容量200リットル以下の小容量タイプ、多機能タイプについては、2.7以上であること。  
日本工業規格であるJISC9220（以下「JIS」とする。）の性能表示しかない機種については、風呂保温機能のある機種は、年間給湯保温効率（JIS）が2.8以上であること。風呂保温機能のない機種は、年間給湯効率（JIS）が2.9以上であること。ただし、寒冷地若しくは塩害地向け機種、2缶タイプ、内蔵缶体角型1缶タイプ、貯湯容量200リットル以下の小容量タイプ、多機能タイプについては、風呂保温機能のある機種は、年間給湯保温効率（JIS）が2.4以上であること。風呂保温機能のない機種は、年間給湯効率（JIS）が2.5以上であること。
- ③ 未使用品であるもの。

### 【補助金の額】

1家庭1台	40,000円
-------	---------

## ○エコジョーズ又はエコフィール（高効率給湯器）

- ① 潜熱を回収するための熱交換器を備え、従来捨てていた排気ガス中の熱を利用し熱交換率を高めたもの。
- ② 給湯効率が90%以上であること。
- ③ 定格給湯能力が60号以下であること。
- ④ 未使用品であるもの。

### 【補助金の額】

1家庭1台 **20,000円**

## ○エコウィル（高効率給湯器）

- ① ガスエンジンユニット及び貯湯ユニットから構成されている熱の供給を目的とした家庭用コージェネレーションシステムであること。
- ② ガスエンジンユニットは、小出力発電設備（10キロワット未満）で発電及び排熱利用の総合効率が低位発熱量基準（LHV基準）で80%以上であること。
- ③ 貯湯ユニットは、（社）日本水道協会品質認証センターの給水器具（湯桶器等）の認証登録、又は（財）日本ガス機器検査協会の給水装置認証登録があること。
- ④ 貯湯ユニットは、ガスエンジンユニットの排熱を吸収できる貯湯槽であり、貯湯容量が90リットル以上であること。
- ⑤ 貯湯槽には対となるガスエンジンユニットから供給されるエネルギー以外の熱の流入がないこと。
- ⑥ 未使用品であるもの。

### 【補助金の額】

1家庭1台 **40,000円**

## ○エネファーム（高効率給湯器）

- 燃料電池ユニット及び貯湯ユニットから構成されており、燃料から水素を取り出して空気中の酸素と反応させて発電し、発電時の排熱を給湯等に利用する家庭用コージェネレーションシステムであること。
- ①
  - ② 燃料電池ユニットの発電能力が、定格運転時において0.5キロワットから1.5キロワットであり、熱出力温度（燃料電池ユニット部出口における温水温度）が50℃以上であること。
  - ③ 燃料電池の排熱を回収し、熱を有効利用できる機構を持つものであること。
  - ④ 定格運転時における総合効率が低位発熱量基準（LHV基準）で80%以上であること。
  - ⑤ 貯湯容量50リットル以上のタンクを有し、燃料電池ユニット部の排熱を蓄えられるものであること。
  - ⑥ 未使用品であるもの。

### 【補助金の額】

1家庭1台 **40,000円**

## ○ハイブリッド給湯器（高効率給湯器）

- ① ヒートポンプ方式とガス熱源器を組み合わせた給湯器であること。
- ② ヒートポンプは自然冷媒を使用していること。
- ③ ガス熱源器は潜熱回収型で給湯効率が90%以上であること。
- ④ 未使用品であるもの。

### 【補助金の額】

1家庭1台 **40,000円**

# 補助対象機器の併用設置について

※太陽光発電設備と高効率給湯器の併用申請は可能です。併用が可能な例として、次の組み合わせが挙げられます。

◎太陽光発電設備＋太陽熱温水器の設置＝併用可能

太陽光発電設備 上限10万円	+	太陽熱温水器 2万円又は4万円	=	最大で12万円 又は14万円
-------------------	---	--------------------	---	-------------------

◎太陽光発電設備＋エコキュートの設置＝併用可能

太陽光発電設備 上限10万円	+	エコキュート 4万円	=	最大で14万円
-------------------	---	---------------	---	---------

◎太陽光発電設備＋エコジョーズ又はエコフィールの設置＝併用可能

太陽光発電設備 上限10万円	+	エコジョーズ又は エコフィール 2万円	=	最大で12万円
-------------------	---	---------------------------	---	---------

◎太陽光発電設備＋エコウィルの設置＝併用可能

太陽光発電設備 上限10万円	+	エコウィル 4万円	=	最大で14万円
-------------------	---	--------------	---	---------

◎太陽光発電設備＋エネファームの設置＝併用可能

太陽光発電設備 上限10万円	+	エネファーム 4万円	=	最大で14万円
-------------------	---	---------------	---	---------

◎太陽光発電設備＋ハイブリッド給湯器の設置＝併用可能

太陽光発電設備 上限10万円	+	ハイブリッド給湯器 4万円	=	最大で14万円
-------------------	---	------------------	---	---------

※高効率給湯器同士の併用申請は不可能です。併用が不可能な例として、次のような組み合わせが挙げられます。

◎太陽熱温水器+エコキュート=併用不可能

◎太陽熱温水器+エコジョーズ又はエコフィール=併用不可能

◎太陽熱温水器+エコウイル=併用不可能

◎太陽熱温水器+エネファーム=併用不可能

◎太陽熱温水器+ハイブリッド給湯器=併用不可能

◎エコキュート+エコジョーズ又はエコフィール=併用不可能

◎エコキュート+エコウイル=併用不可能

◎エコキュート+エネファーム=併用不可能

◎エコキュート+ハイブリッド給湯器=併用不可能

◎エコジョーズ又はエコフィール+エコウイル=併用不可能

◎エコジョーズ又はエコフィール+エネファーム=併用不可能

◎エコジョーズ又はエコフィール+ハイブリッド給湯器=併用不可能

◎エコウイル+エネファーム=併用不可能

◎エコウイル+ハイブリッド給湯器=併用不可能

◎エネファーム+ハイブリッド給湯器=併用不可能